

■清須市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画アンケート調査分析報告書 ～地域包括支援センター項目抜粋～

1 調査の目的

この調査は、市民の生活状況や福祉への意向、事業者における課題等を把握し、「清須市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画」策定のための基礎資料とするため、実施しました。

2 調査の対象者等

	対象者	実施時期	調査方法
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	65歳以上の市民（要介護認定者を除く）から無作為抽出した 4,100人	令和4年 12月12日 ～ 12月26日	郵送配布、 郵送回収
在宅介護実態調査	要支援・要介護認定者（施設入所者を除く）から無作為抽出した 1,500人		
サービス事業者調査	市内のサービス提供事業者 75事業者		

3 調査票の回収結果

	標本サイズ	回収数	無効*	有効回収数	有効回収率
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	4,100	2,686	1	2,685	65.5%
在宅介護実態調査	1,500	848	4	844	56.3%
サービス事業者調査	75	53	0	53	70.7%

※白紙回答、在宅介護実態調査における施設等入所（入居）者からの回答を無効としました。

4 報告書の見方

- ・グラフ・表中の「n」はアンケートの有効回収数を示しています。
- ・比率はすべて百分率（％）で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。従って、合計が100.0%にならない場合もあります。
- ・複数回答の場合、回答の合計比率が100.0%を超える場合があります。
- ・グラフ・表として示したもののうち、無回答の回答数が0の場合は「無回答」の表示を省略しています。また、選択肢の文章を簡略化してある場合があります。

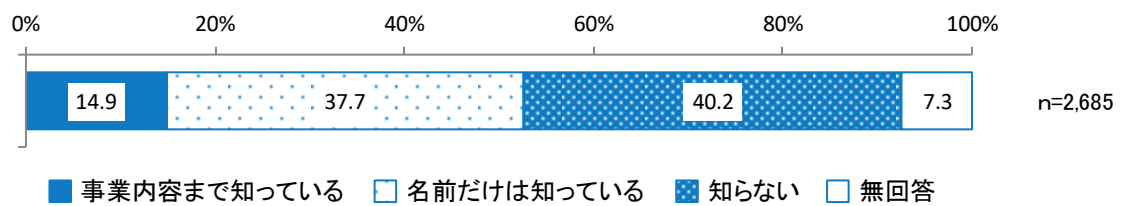
～地域包括支援センター該当項目抜粋～

9 介護保険制度および高齢者福祉施策について

9-1 地域包括支援センターの認知度

問 72 あなたは、地域包括支援センターを知っていますか。（〇は1つ）

地域包括支援センターの認知度については、「知らない」が40.2%と最も高く、「事業内容まで知っている」（14.9%）と「名前だけは知っている」（37.7%）を合わせた“名称の認知度”は52.6%となっています。

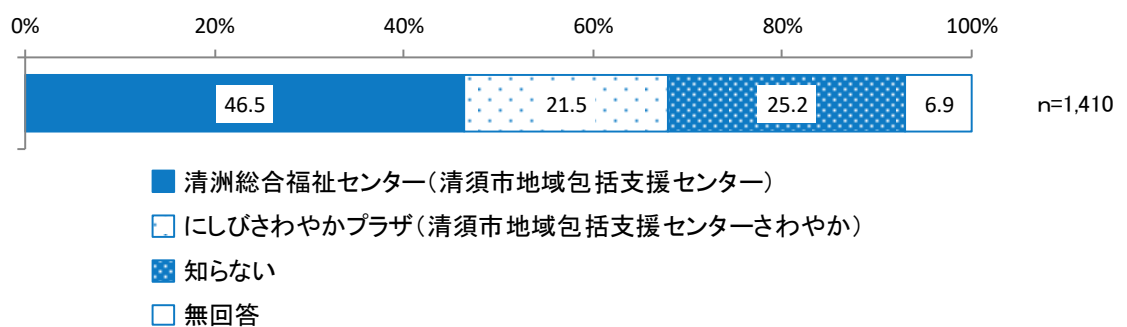


問 72 で「1. 事業内容まで知っている」または「2. 名前だけは知っている」とお答えの方

問 72-1 令和4年6月から地域包括支援センターが2か所になりましたが、相談する地域包括支援センターの場所を知っていますか。（〇は1つ）

相談する地域包括支援センターの場所の認知度については、全体から「知らない」（25.2%）と無回答を除いた『場所を知っている』人は67.9%となっており、その内訳は「清洲総合福祉センター（清須市地域包括支援センター）」が46.5%、「にしびさわやかプラザ（清須市地域包括支援センターさわやか）」が21.5%となっています。

地区別でみると、西枇杷島地区では「にしびさわやかプラザ」（担当：西枇杷島地区・新川地区）が67.4%で「知らない」が18.2%、新川地区では「にしびさわやかプラザ」が17.3%で「知らない」が31.6%となっています。一方、清洲地区では「清洲総合福祉センター」（担当：清洲地区・春日地区）が77.0%で「知らない」が15.5%、春日地区では「清洲総合福祉センター」が50.3%で「知らない」が46.6%となっています。



	件数	セ(清洲総合福祉センター)	セ(にしびさわやかプラザ)	知らない	無回答
全体	1,410	46.5	21.5	25.2	6.9
西枇杷島地区	340	7.4	67.4	18.2	7.1
新川地区	392	42.6	17.3	31.6	8.4
清洲地区	470	77.0	0.4	15.5	7.0
春日地区	189	50.3	0.5	46.6	2.6

問 72 で「1. 事業内容まで知っている」とお答えの方

問 72-2 地域包括支援センターでは、さまざまな事業を行っています。あなたは地域包括支援センターが行っている事業の中で、知っているものは何ですか。（〇はいくつでも）

地域包括支援センターの事業で知っているものは、「高齢者宅への訪問等による実態調査」が64.2%と最も高く、次いで「高齢者の一般的な相談」（55.6%）、「病院や施設の入退院（所）に関する相談」（51.1%）、「介護予防のためのケアプランの作成」（47.6%）、「認知症の相談」（40.6%）となっています。

